

## 「池内邸」はどんな建物？



◆池内邸は、藩主池田光仲とともに鳥取に移住した御用商人の高砂屋池内家が、明治の中頃に材木町から元大工町の薬研堀沿いに移り、現在でも綿商いを行っている商家で、中心市街地にあります。母屋は江戸時代に建てられており、明治に建てられた店舗棟も、江戸時代の店だなを受けついでいます。  
▷池内邸は、店と蔵と庭から構成されており、その美しい風情は保存状態もよく、城下町商人の店はどのようなものであったのかを今に伝えています。

構造：木造2階建、敷地面積：1003.2㎡、延床面積 604.0㎡

※池内邸は、現在居住されていますので内部の見学はできません。

## 「旧岡崎邸」はどんな建物？



◆旧岡崎邸は、鳥取藩の財政建て直しに重要な役割を果たした5代藩士岡崎平内が、藩主から与えられた屋敷を天保頃（1830～1843）に建て替えたものです。現在残されている建物は、使用材や全体の造作が、当時の武家屋敷としては珍しいものといわれています。

▷7代目藩士岡崎平内は鳥取県の再置に力を尽くし、初代鳥取県議会議長、初代鳥取市長を務めました。晩年は、自宅の剣術道場で雖井蛙流の普及に努めました。

▷日本で初めての女性弁護士となった中田正子さんもここに住んでいました。

構造：木造2階建、敷地面積：561.6㎡、延床面積：293.0㎡

### 保存場所の検討

現地での保存が良いか、移築しての保存が良いか、また移築する場合はどのような場所が良いかなども活用方法と併せて意見をお寄せください。

- ⑥ 土蔵の活用（飲食店）など
- ⑤ 敷地内の薬研堀の復元による城下町の風情の再現
- ④ 庭と蔵の景観を生かした高齢者など市民の憩いの場
- ③ 市民の伝統文化・伝承芸能の発信の場
- ② 特産品の展示販売の場
- ① 城下町としての鳥取、江戸明治の商家の紹介の場

### 活用の例

- ① 鳥取県・鳥取市の歴史などの紹介の場
- ② 鳥取にゆかりの剣豪についての情報発信の拠点
- ③ 七代目岡崎平内の思想・行動や中田正子など郷土の偉人の情報発信の拠点
- ④ 鳥取市の迎賓館または文化活動の場
- ⑤ 建築技術の伝習・研修の場
- ⑥ 地産地消レストランなど

## ご意見のあて先はこちらです

◇提出方法 様式は問いません。住所・氏名を明記のうえ、持参・郵送・ファックス・電子メールのいずれかで

◇資料配付場所 ▷市役所1階総合案内所 ▽行政サービスセンター（鳥取駅構内）▷市役所3階政策調整担当※鳥取市ホームページにも掲載しています（アドレスは表紙下段）

◇提出期限 11月28日（金）

◇提出先・問い合わせ先 政策調整担当（☎20-3031）▷ファックス/21-1594▷電子メール/seisaku@city.tottori.tottori.jp



伊藤 政策調整監

みなさんから  
たくさんのご  
意見をお待ち  
しています。

